

音声付きPowerPoint動画作成

最低限必要な機能

1. 音声入力ができる環境

- ・内蔵マイクを使用すると設定が簡単ですが、ノイズの影響が大きくなります。
- ・ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- ・Windows : PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Microsoft365のいずれか
- ・Mac : PowerPoint for Mac 2019, Microsoft365のどちらか

注意事項

スライドサイズは16:9に設定してください。
スライドを切り替える際は音声途切れてしまうので、話し終わってからスライドを送り、一息おいてから発表の続きを話してください。

マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」をクリックし、
入力デバイスが登録されていることを確認します。

「マイクのテスト」では試しに発声し、反応することを確認します。

Windows の設定

設定の検索

システム
ディスプレイ
通知とアクション
集中モード
電源とスリープ
バッテリー
記憶域
タブレットモード
マルチタスク

サウンド

マスター音量

11

トラブルシューティング

サウンド デバイスを管理する

入力

入力デバイスを選択してください

マイク配列 (Synaptics Audio)

アプリによっては、ここで選択したものと異なるサウンド デバイスを使用するように設定されている場合があります。サウンドの詳細オプションでアプリの音量とデバイスのカスタマイズします。

デバイスのプロパティ

マイクのテスト

トラブルシューティング

サウンド デバイスを管理する

登録されていることを確認します。

試しに発声したとき、反応することを確認します。

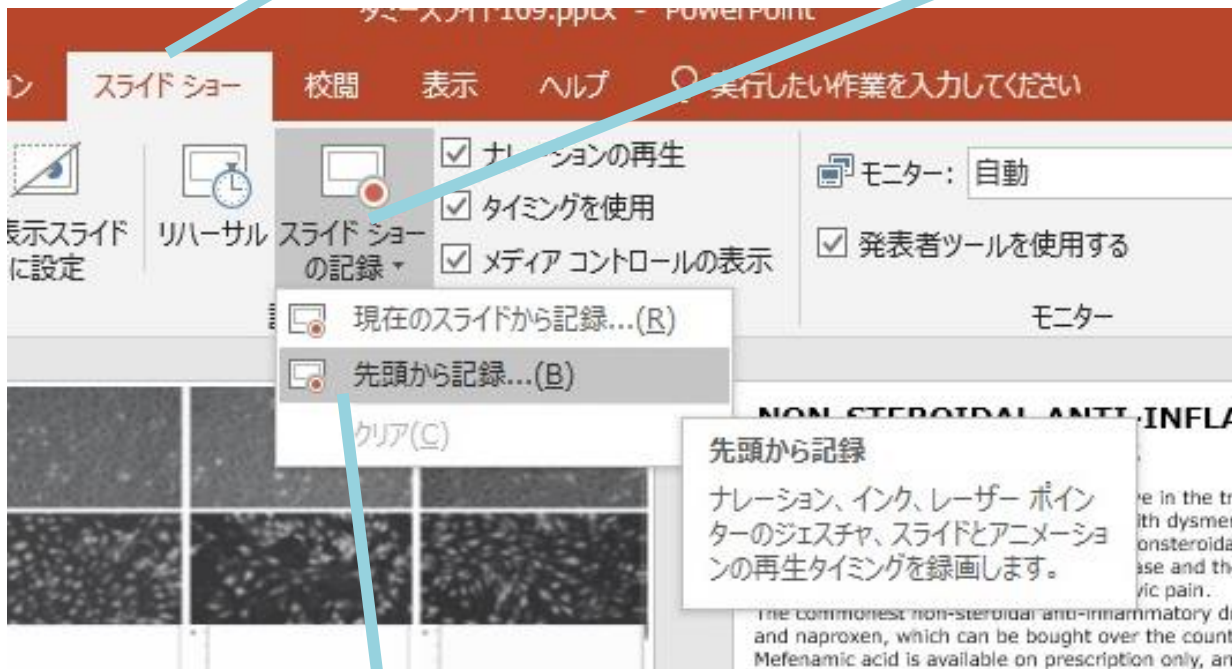
Windows

PowerPoint2019 ▪ Office365

①スライドショータブを開きます。

②スライドショーの記録をクリックします。

④記録の開始をクリックします。



③先頭から記録をクリックします。



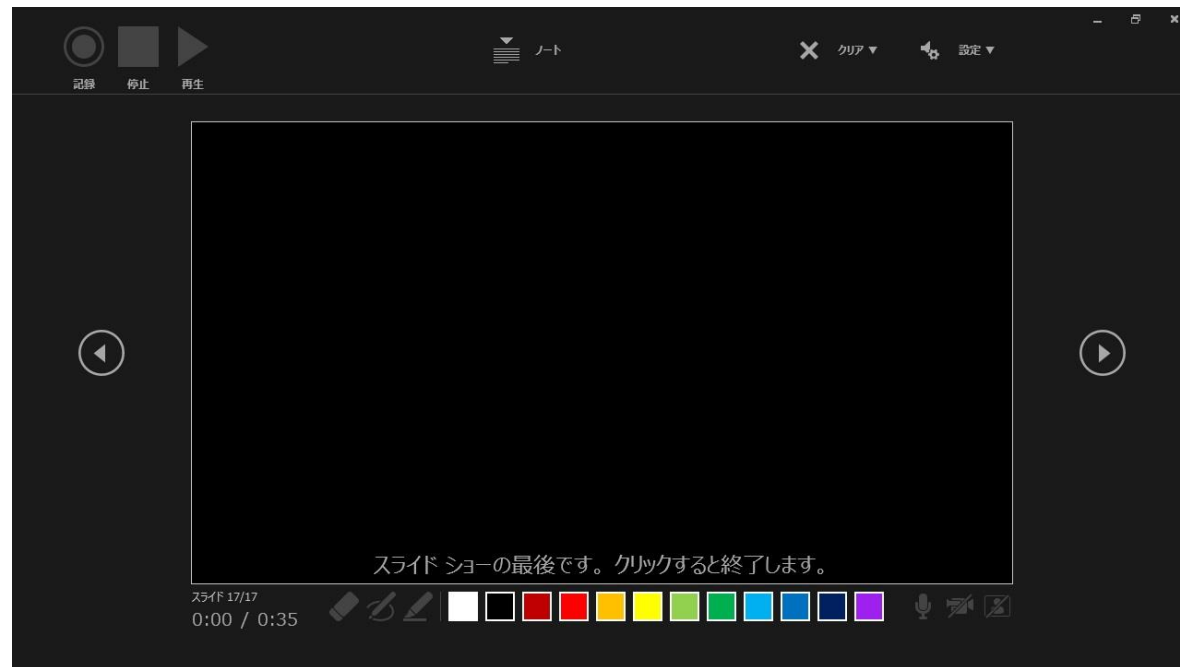
⑤ スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音します。

⑥ 下記画面まで進めると自動的に録画が停止します。スライドをもう1枚進めるともとの画面に戻ります。



記録の停止をクリックするとそこまでの記録が残ります。

記録の一時停止をクリックすると再生中のアニメーションが止まります。



ここをクリックもしくはスライド上をクリックすると次のアニメーションに進みます。

ファイル ホーム 挿入 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 校閲 表示 ヘルプ 実行したい作業を

レビュー 効果のオプション

なし 変形 フェード プッシュ ワイプ スプラット 出現 カット

画面切り替え

1 講演スライド
これはリハーサル用のダミーです。 ★ 00:23

2 ★ 00:09

3 NON-STEI
endometriotic les
pain. In particula
mediated by pros
inflammatory dr.
prostaglandin pr
The commonest
and naproxen, w
Mefenamic acid i
the treatment of
daily.
The main side-ef
irritation. Peptic
and of time, si

⑦スライドショーを最後まで進めて終了し、スライダー一覧表示で、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認し、PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)して下さい。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等に問題がないかを確認して下さい。

⑧スライドを確認して問題なければ、ビデオを作成します。
ファイル>エクスポート>ビデオの作成 に移動します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択

記録されたタイミングとナレーションを使用するを選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

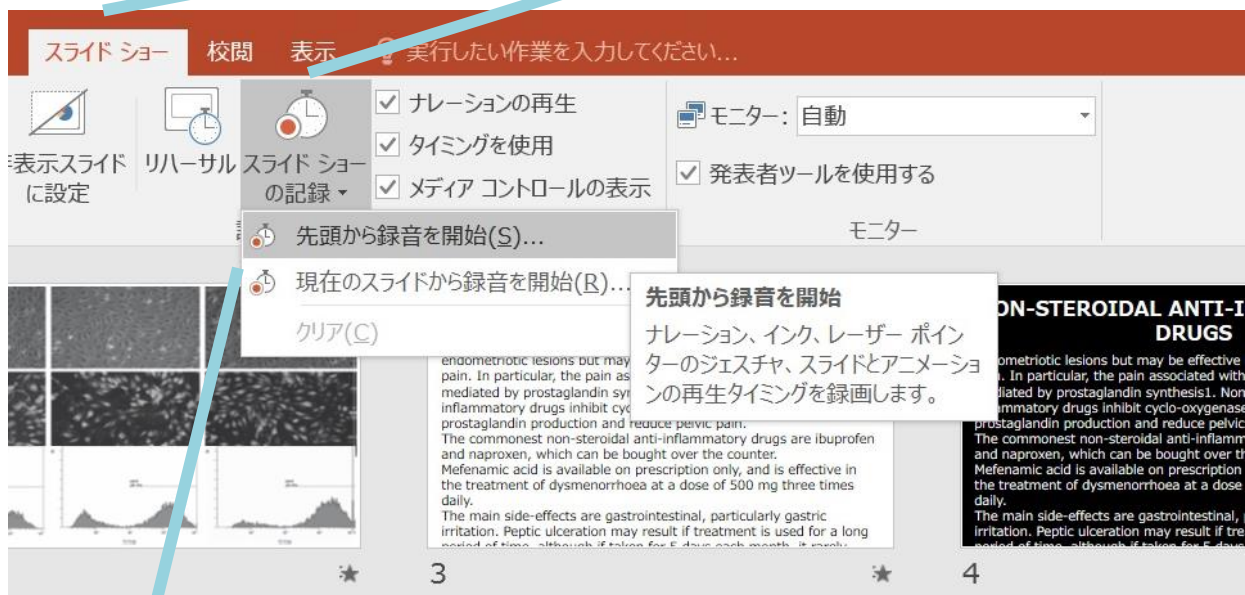
動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。作成したビデオはご自身で再生いただき、問題が無いかご確認ください。

Windows

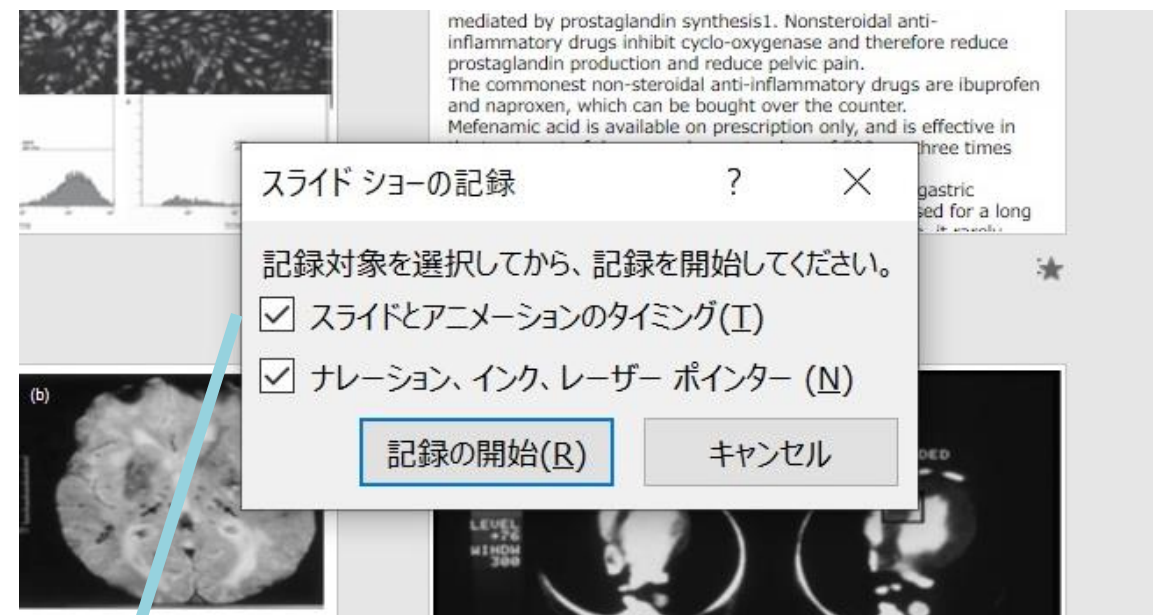
PowerPoint2013 ▪ 2016

①スライドショータブを開きます。

②スライドショーの記録をクリックします。



③先頭から録音を開始をクリックします。



④「スライドショーとアニメーションのタイミング」「ナレーションとレーザーポインター」のチェックが入っていることを確認して「記録の開始」をクリックします。

⑤左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進めます。



⑥スライドショーを最後まで進めて終了し、スライダー一覧表示で、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認し、PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)して下さい。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等に問題がないかを確認して下さい。

⑦スライドを確認して問題なければ、ビデオを作成します。
ファイル>エクスポート>ビデオの作成 に移動します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



記録されたタイミングとナレーションを使用するを選択

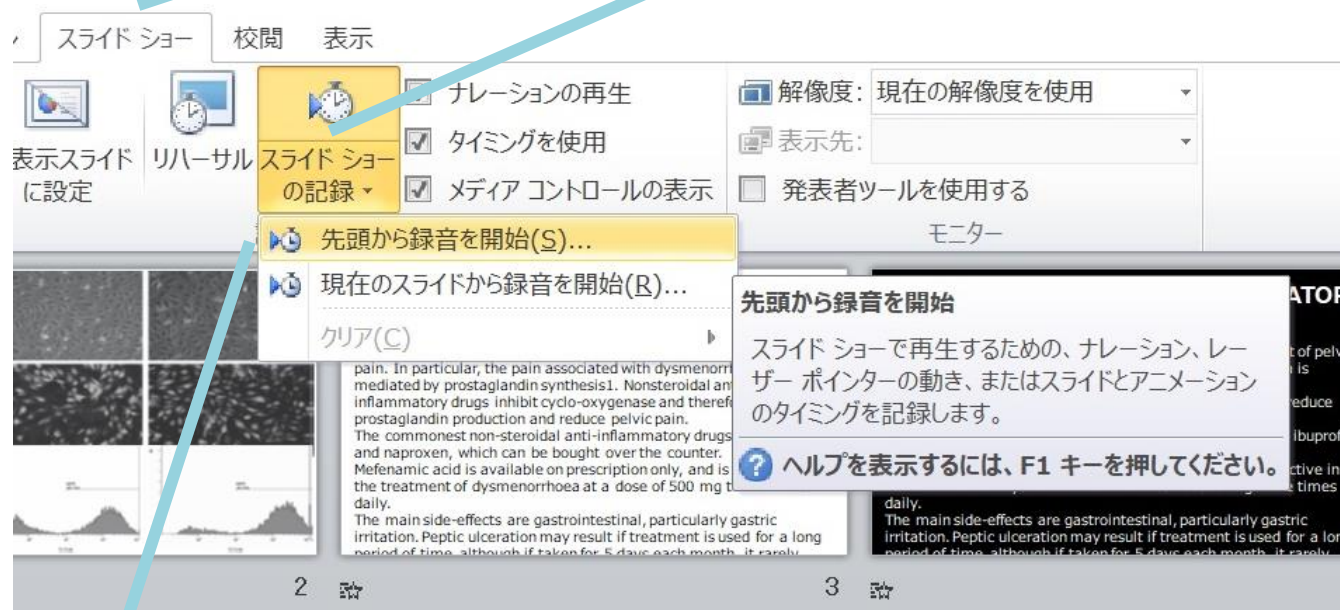
最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。作成したビデオはご自身で再生いただき、問題が無いかご確認ください。

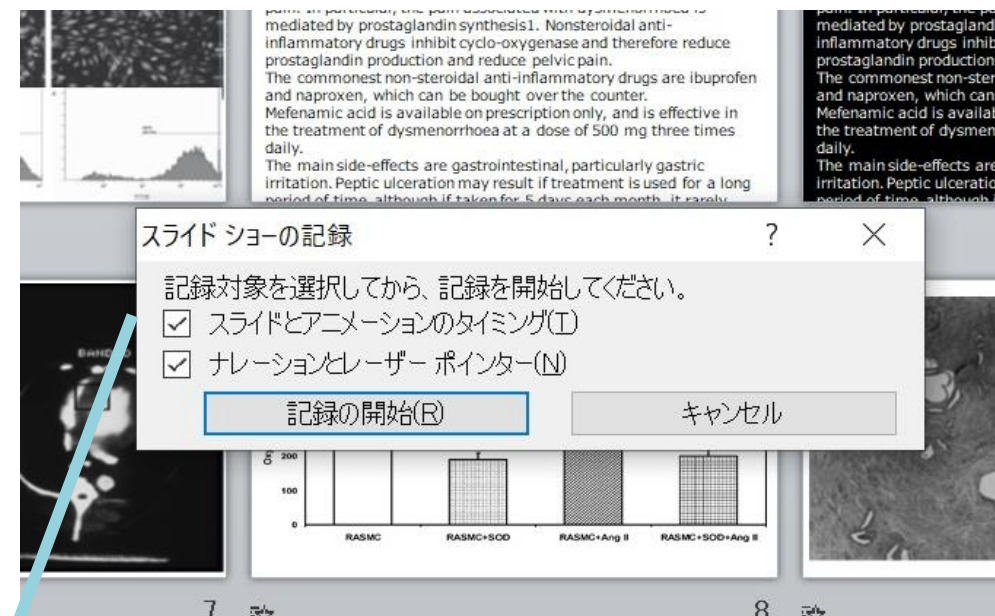
Windows
PowerPoint2010

①スライドショータブを開きます。

②スライドショーの記録をクリックします。



③先頭から録音を開始をクリックします。



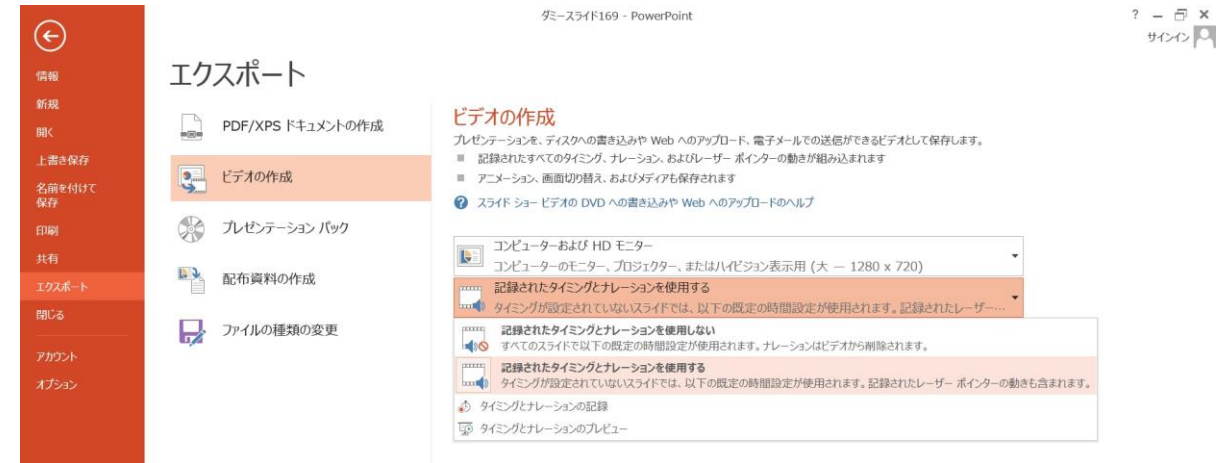
④「スライドショーとアニメーションのタイミング」「ナレーションとレーザーポインター」のチェックが入っていることを確認して「記録の開始」をクリックします。

⑤左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進めます。



⑥スライドショーを最後まで進めて終了し、スライダー一覧表示で、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認し、PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)して下さい。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等に問題がないかを確認して下さい。

⑦スライドを確認して問題なければ、ビデオを作成します。
ファイル>エクスポート>ビデオの作成 に移動します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択

記録されたタイミングとナレーションを使用するを選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。作成したビデオはご自身で再生いただき、問題が無いかご確認ください。

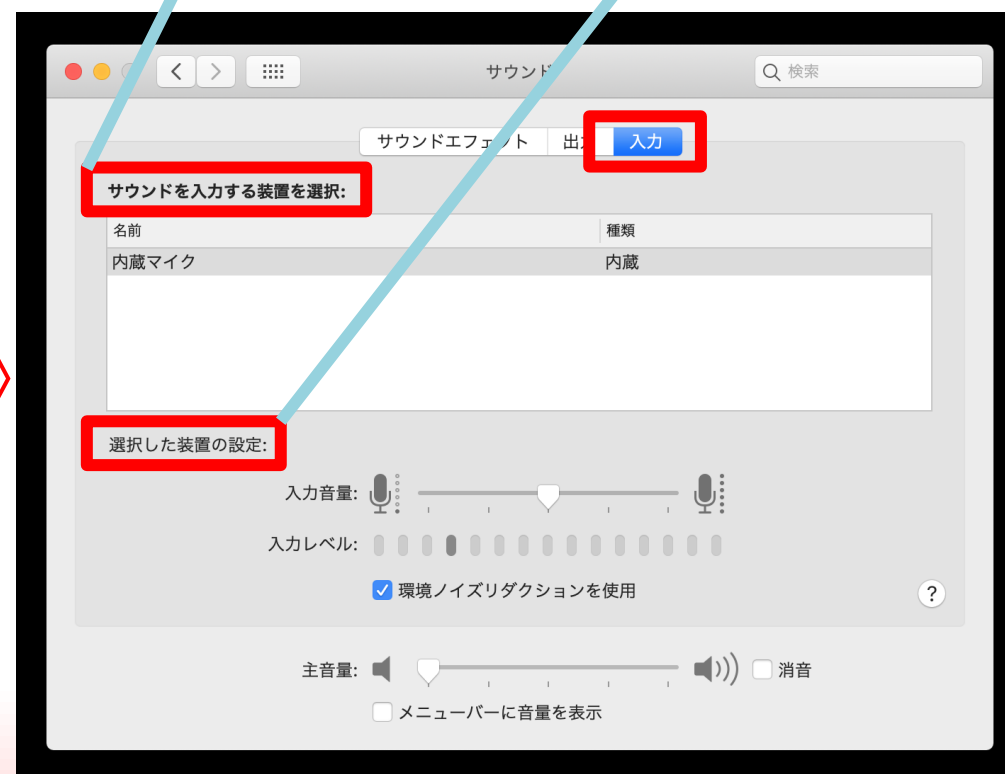
Mac

PowerPoint for Mac 2019 ▪ Office365

マイクの確認方法

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、
入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認します。

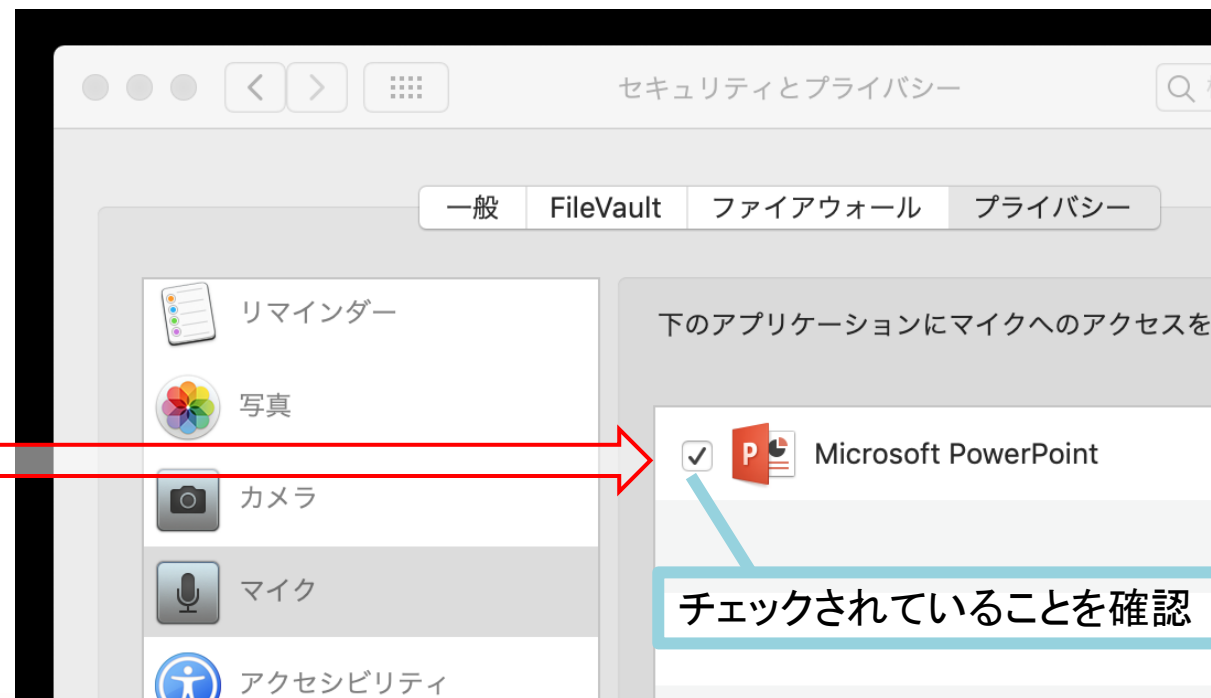


登録されていることを
確認します。

試しに発声したとき、
反応することを確認します。

PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」
>「マイク」を選択し、PowerPointの項目にチェックが入っていることを確認します。



PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。

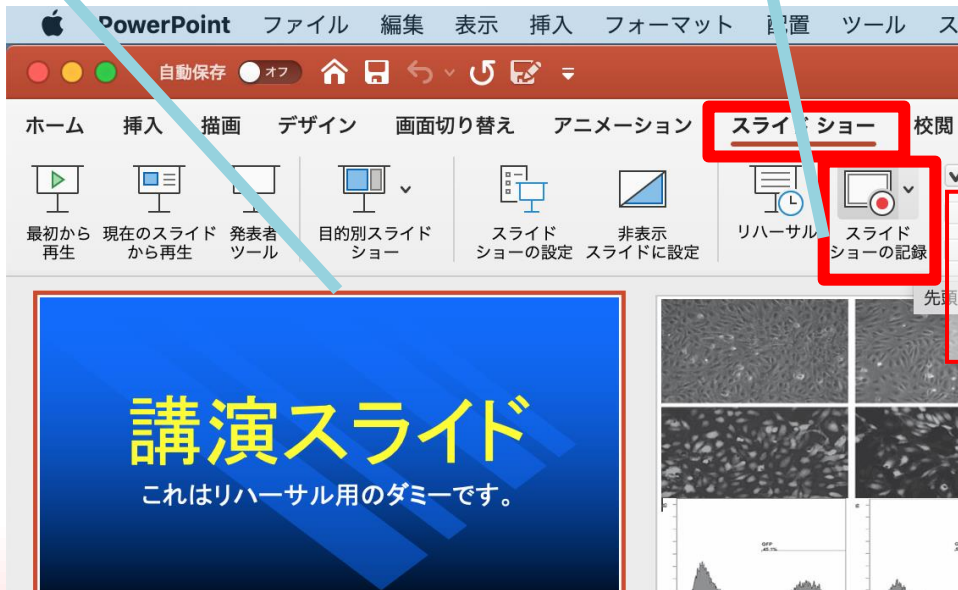
「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、

画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。

1枚目が選択されていることを確認

カーソルを合わせたとき、先頭から録音を開始という注釈が現れることがあります。

クリックすると画面が切り替わり録画が開始されます



スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。
ペンやポインター等も使えますが、
最終的に動画で記録されるのは、
スライドを送るタイミングと音声のみです。
また、前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の
録音を取り消されるので注意してください。
(前のスライドに戻るのには推奨しません)



記録中も、左下の
スライドショーツールバーから、
1枚目または1個前のスライドに戻れます。
ただ、戻るのには推奨しません。

左下のツールバーから
ペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、
これらに関しては記録されません。

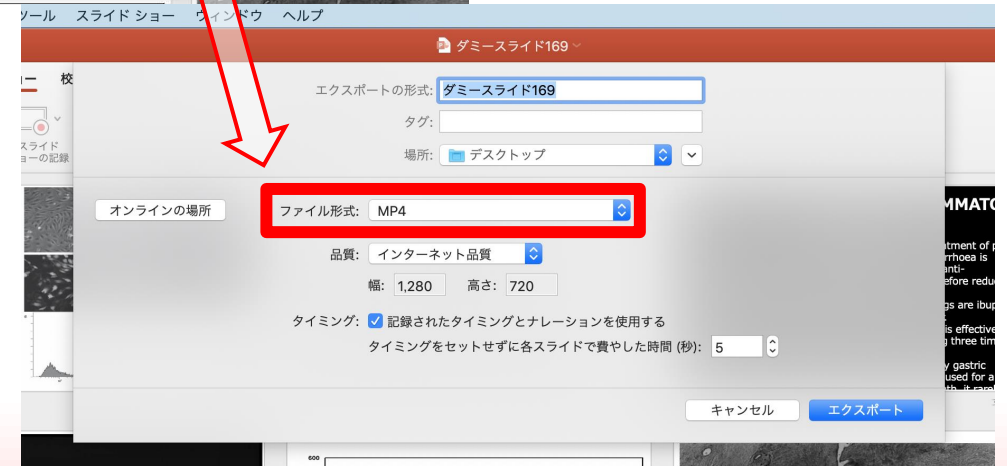
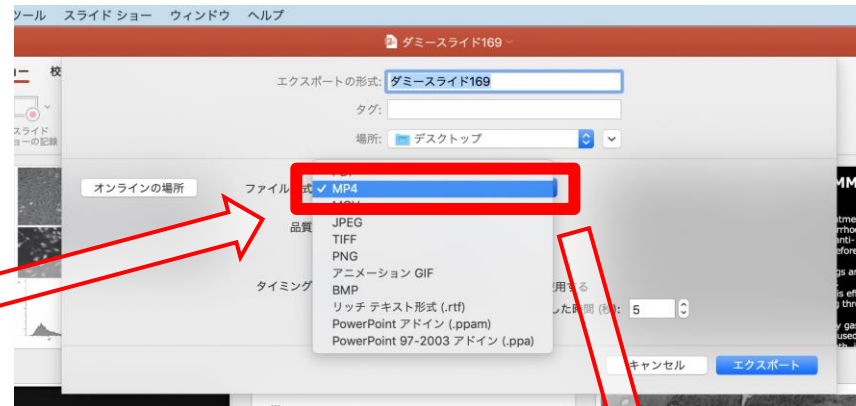
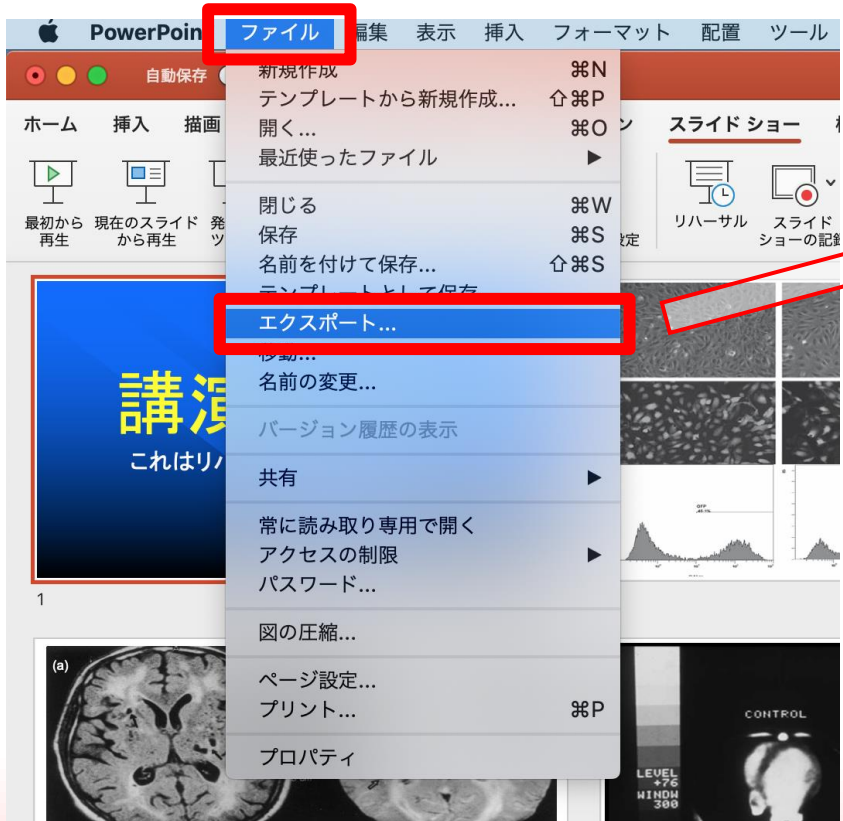
スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると
今回のタイミングを保存しますか？ というウィンドウが表示されますので「はい」を選択します。



保存先の選択

「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが表示されます。
ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、
詳細が設定できるようになります。



画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。作成した動画はご自身で再生いただき、問題が無いかご確認ください。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーからHD画質(1270×720)の動画を作成するのに約10分かかります。

